

# 森の川自然散歩

2018年9月「大」昆虫展開催記念特集号II

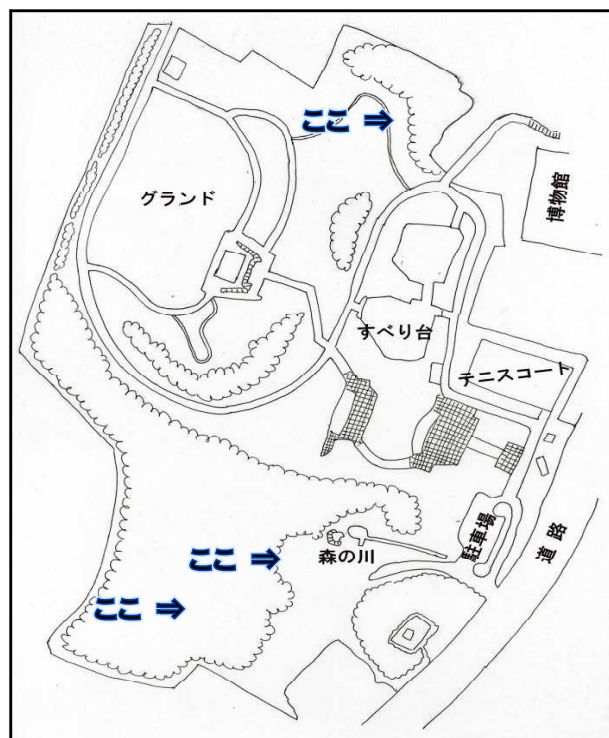


トンボ、クワガタ、カメムシ、いろいろ大集合

上：幹の上で、葉のかけから身を乗り出すオキナワノコギリクワガタのオス。

## オキナワノコギリクワガタ (メモ) ▶▶▶

- 体の大きさは、オスでは30～70mm、メスでは25～35mmになります。クワガタムシの場合、体の大きさには大あごも含めます。
- 夏の6月から7月によく見つかりますが、12月に見つけられたこともあります。森川公園では、早朝に遊歩道を散歩すると、遊歩道に落ちている個体が、時どき見つかります。
- 沖縄島のノコギリクワガタは、体の色が茶色のものと黒いもののが見つかりますが、両方とも同じオキナワノコギリクワガタです。
- タブノキやミカンなどの木の樹液が好きで、ミカンの木の根本や割れ目などを探すと2～3個体が集まっていることがよくあります。

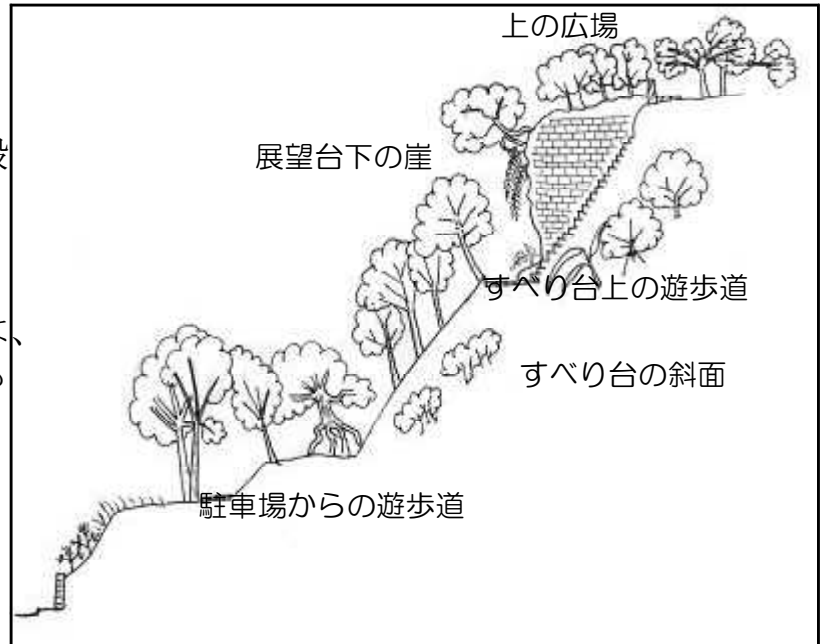


# 森川公園で見つける不思議

緑の公園には、不思議がいっぱい見つかります。

## (19) 森川公園の坂は自然のタイムマシン??

森川公園のある場所は、大昔は北中城辺りにあった沖縄島(今の沖縄島とはかなり形は違う)の西側の海底でした。長い年月をかけて、海底にサンゴや貝殻などが積もり、琉球石灰岩の地層をつくりました。これが今から約50万年前に隆起して、宜野湾の石灰岩台地ができあがりました。森川公園の崖(坂)は、この時の海岸を海の水が削って出来たものです。その後、約5万年前に、もう一度陸地が隆起して、森川公園の斜面地も陸地となりました。この時の海岸が大山周辺の崖地になります。つまり、森川公園を上の方から入口に向かっていくことは、50万年前から5万年前へと旅することにもなるのです。



上：森川公園の展望台付近から入口にかけての簡単な断面図。

# 森川公園9月の花ごよみ

## 道ばたに咲くヤブラン

- 森川公園駐車場から上の広場に行く、周回遊歩道の道ばたに生えています。
- 葉は細長く先が尖った線形、長さは30～50cm、幅は10～13mmで、全体に平たいです。高さは30～80cmになり、一塊りに密生して生えています。
- ヤブランの花は薄紫色で実は紫色になります。ヤブランとよく似た植物にノシランがありますが、こちらは白い花に緑色の実をつけます。この二つは、花や実がついていないと、ほとんど区別が付きません。
- 沖縄島の石灰岩地に普通に生える草本植物ですが、最近は公園や花壇、庭などに観賞用として植えられることも多くなっています。
- 森川公園のヤブランは、まばらに生えているところから、自然の個体が生き残ったものと思われる。



上：森川公園駐車場付近のヤブラン。



右：ヤブランの花

# 森川公園の昆虫たち大集合!



◀オオシロカラトンボ



ハネビロトンボ ▶



◀ハラボソトンボ



ベニトンボ ▶



◀オキナワモリバッタ



カネタタキ ▶



◀マダラコオロギ



オキナワナナフシ ▶



◀コブナナフシ

サツマゴキブリ▶



◀ウシカメムシ

タイワントゲカメムシ▶



◀ゴマダラカミキリ

ヒラタクワガタ▶



◀ダンダラテントウ

ヒラヤマメナガゾウムシ▶



博物館で森川公園の見取り図をもらって、  
自分が見つけた動物や植物をメモしていこう！

疑問や質問があったら、博物館の職員にいろいろ聞いてみてね。  
宜野湾市立博物館 〒901-2224 宜野湾市真志喜1-25-1  
Tel:098-870-9317 Fax:098-870-9316

